もりした眼科クリニック通信

発行日：令和 7 年 9 月
もりした眼科クリニック
高松市松縄町 1140-9
TEL：087-865-6633

9 月 23 日は「網膜の日」です！

みなさん、こんにちは！まだまだ暑い日が続いていますね！体調を崩さないように気をつけましょう。
さて、今回のクリニック通信は網膜についてです。みなさん、「網膜の日」があるのを知っていますか。網膜の病気に対する理解を深めることと、網膜の病気を持つ人々を支える社会の実現を目指して 9 月 23 日が網膜の日として制定されています。

なぜ 9 月 23 日が網膜の日・・・？

9 月 23 日は秋分の日でもあります。網膜色素変性症などの網膜の病気を抱える人々にとって明るさ、つまり昼間の長さは重要です。昼と夜の長さがほぼ同じになる秋分の日を境に夜が長くなり暗い時間が増えるため、秋分の日が網膜の日として選ばれたのです。

さまざまな網膜の病気

網膜は眼の奥にある光を感じる組織です。網膜色素変性症、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜剥離など、網膜の病気はさまざまで、網膜の病気になると、ものが歪んで見えたり、ぼやけたりする症状が出ます。また、暗いところでは見えにくくなったり、視野が狭くなったりするため、日常生活にも支障をきたしてしまいます。
これらの病気は、完全に見えない状態ではなく、見えにくい状態にもなります。網膜の病気を抱えていても周りの人からは分かりにくく、十分な理解が得られないこともあります。
たとえば、白杖はまったく目が見えない人だけが使うものではありません。網膜の病気は人によってそれぞれ違った見えにくさがあるので、安全に歩くためには白杖が必要という場合もあるのです。また、スマートフォンには見えにくい人を助けるさまざまな機能があり、それらを活用している人もいます。
網膜の日をきっかけに、網膜の病気のことや人それぞれの見えにくさがあることを知ってください。そして、見えにくくて困っている人がいたら声をかけてみてくださいね！

【9 月の診察に関してお知らせ】
4 日(木)・5 日(金)・11 日(木)・12 日(金)・19 日(金)・25 日(木)・26 日(金)の午前中と 18 日(木)は院長と非常勤医師の 2 名で診察をします。

編集者より

お盆は小学生の姪っ子と妹を映画に連れて行きました。ポップコーンとジュースを買い、映画の後はグッズも買い、メダルゲームで遊んでご飯も食べて帰りました。普段は頻繁に会って遊ぶことはできないのでたまにはいいなと思いました。姪っ子や妹の楽しかったという言葉と笑顔で、私はとっても嬉しくなりました。いいお盆休みでした！

院長より

今回は網膜の日についての記事でした。皆様に眼の病気について興味を持っていただきご自身の眼を大切にすること、また見えにくくて困っている人のことを理解していただく機会になれば嬉しいです。連日の猛暑はいつまで続くのかと思っておりましたが、昨日コオロギの鳴き声が聞こえてきて秋の気配も感じるようになりました。
秋のお野菜や果物もお店で見かけるようになりましたので、美味しいものを食べて元気に秋を迎えたいですね。
今月もどうぞよろしくお願いいたします。